

千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第34週 (8/19-8/25) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	34週	33週	32週	31週
小児科	18	18	15	18
眼科	5	5	4	5
インフルエンザ*	28	28	22	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	8/19-8/25	8/12-8/18	8/5-8/11	7/29-8/4	8/12-8/18
			34週	33週	32週	31週	33週
小児科	RSウイルス感染症	○	20 1.11	16 0.89	20 1.33	33 1.83	167 1.27
	咽頭結膜熱		1 0.06	4 0.22	4 0.27	11 0.61	35 0.27
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		22 1.22	5 0.28	19 1.27	15 0.83	117 0.89
	感染性胃腸炎		52 2.89	27 1.50	30 2.00	70 3.89	189 1.43
	水痘		3 0.17	2 0.11	3 0.20	14 0.78	29 0.22
	手足口病		61 3.39	34 1.89	159 10.60	245 13.61	232 1.76
	伝染性紅斑		6 0.33	5 0.28	12 0.80	17 0.94	44 0.33
	突発性発しん		14 0.78	5 0.28	13 0.87	9 0.50	26 0.20
	ヘルパンギーナ		12 0.67	6 0.33	11 0.73	34 1.89	63 0.48
	流行性耳下腺炎		2 0.11	1 0.06	1 0.07	1 0.06	7 0.05
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		3 0.11	1 0.04	0 0.00	0 0.00	10 0.05
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎	○	8 1.60	5 1.00	7 1.75	5 1.00	9 0.27
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(11件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	病理学的な特異所見	梅毒	女性	70歳代	血清抗体の検出
結核	女性	60歳代	IGRA検査	百日咳	男性	10歳代	病原体遺伝子の検出
腸管出血性 大腸菌感染症	女性	20歳代	病原体の分離・同定 及びペロ毒素の確認	百日咳	男性	50歳代	抗体の検出
	女性	30歳代		百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
E型肝炎	男性	50歳代	血清IgA抗体の検出	百日咳	女性	10歳代	抗体の検出
梅毒	男性	30歳代	血清抗体の検出	-	-	-	-

*第34週は、結核2件(123)、腸管出血性大腸菌感染症2件(11)、E型肝炎1件(8)、梅毒2件(24)、百日咳4件(103)の報告があった。

※ ()内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

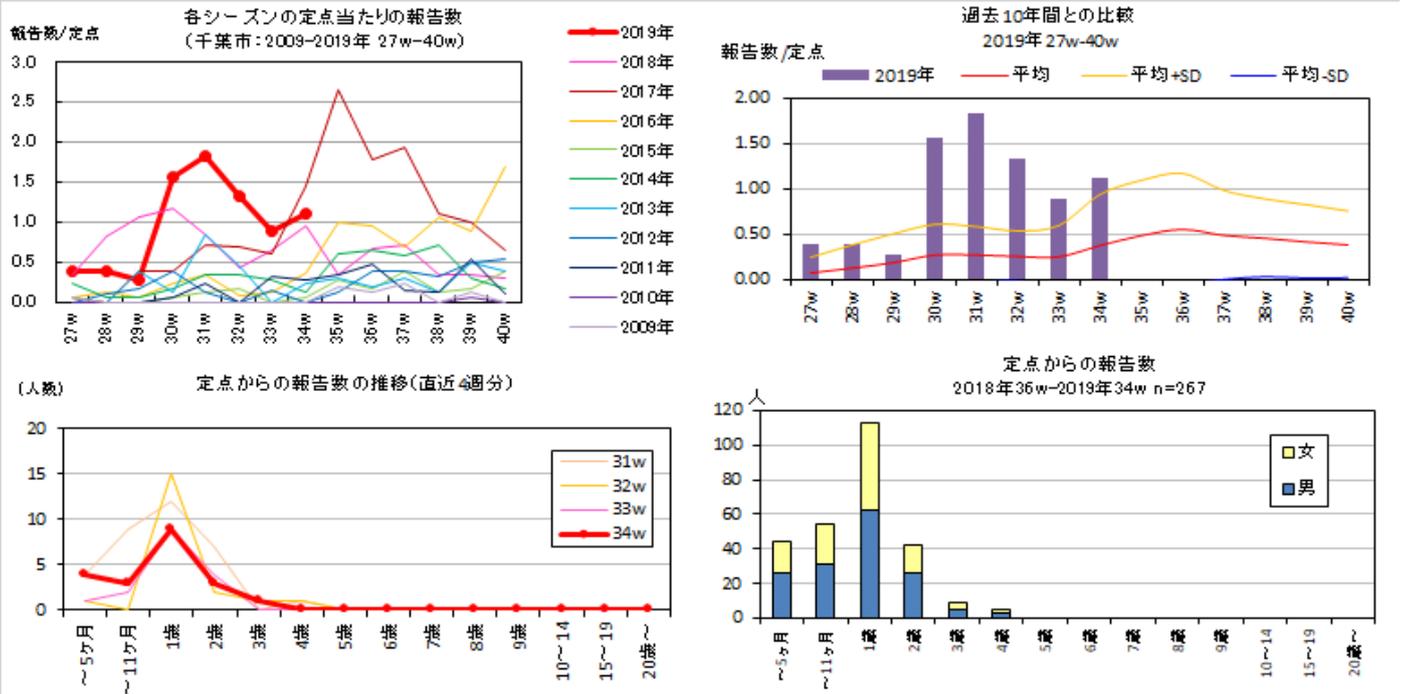
定点当たり報告数 第34週のコメント

＜RSウイルス感染症＞前週より増加に転じ1.11となった。過去10年の同時期と比べると多い。
 ＜流行性角結膜炎＞前週より増加し1.60となった。過去10年の同時期と比べると最多となっている。

トピック

＜RSウイルス感染症＞

全国レベルの第33週の定点当たりの報告数は1.32で、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では宮崎県、長崎県、山形県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は1.25で、全国レベルとほぼ同等レベルとなっています。千葉市の第34週は前週より増加に転じ1.11となりました。過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、美浜区(2.25/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2018年第36週から2019年第34週までの累積報告数は267件で、性別では男性が57.7%(154名)、女性が42.3%(113名)となっており、年齢階級別では1歳(42.3%:113名)、6-11か月(20.2%:54名)、0-5か月(16.5%:44名)の順で多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第33週の定点当たりの報告数は0.55で、過去10年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では鹿児島県、宮崎県、沖縄県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.27で、全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の第34週は前週より増加し1.60となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、美浜区(8.0/定点)で流行発生警報開始基準値(8.0/定点)と並び最多で、同区の30歳代で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第34週までの累積報告数は82件で、性別では男性が56.1%(46名)、女性が43.9%(36名)となっており、年齢階級別で30歳代(26.8%:22名)、40歳代(18.3%:15名)、20歳代(8.5%:7名)の順で多くなっています。

